

(別紙)

令和7年1月8日

四国運輸局長 殿

伊予鉄道株式会社

地域公共交通確保維持改善事業（MaaSの実装に向けた基盤整備事業）
に関する事業評価について

標記について、別添のとおり実施しましたので報告します。

MaaSの実装に向けた基盤整備事業・事業評価

令和7年1月8日

補助事業者名：伊予鉄道株式会社

評価対象事業名：地域交通キャッシュレス決済導入支援事業

①事業の結果概要	
(事業の実施内容、結果の概要等を記載)	
【事業の実施内容】 西日本旅客鉄道株式会社のICOCAシステムによる全国相互利用サービスを、伊予鉄電車・バス全線に拡大するとともに、ICOCA定期券サービスを開始する。 全国相互利用サービスのエリアを伊予鉄電車・バス全線に拡大することに伴い、西日本旅客鉄道株式会社と株式会社JR西日本テクシアが開発を進めている「Web定期券サービス」を導入する。 【結果の概要等】 ICOCAシステムの拡大により、ICOCAまたは全国交通系ICカードにチャージされたSF残高で、伊予鉄電車・バス全線の利用が可能となる。また、Web定期券サービスの導入により、お客様自身がスマートフォンやパソコンからWebで定期券の購入・更新が可能となる。クレジットカード決済のほか、コンビニでの現金決済による購入も可能となり、お客様の利便性向上、窓口の業務負担軽減を図る。	
②事業実施の適切性	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の計画に沿って、事業が適切に実施されたかどうかを定性的に記載)
A	ICOCAシステムの拡大及びWeb定期券サービスの導入は、計画通り適切に実施される予定。
③目標・効果の達成状況	
A/B/Cのいずれか	(交付申請時の目標値の達成状況等を定量的に記載)
A	ICOCAシステムの拡大及びWeb定期券サービスの導入により、お客様の利便性向上、窓口の業務負担軽減が図られる見込み。 【今後のスケジュール】 ・令和7年1月初旬～2月下旬にかけて、プレ本番試験およびWeb定期券の配信試験を実施 ・令和7年1月中旬～2月中旬にかけて、鉄道線主要駅にICOCA係員発行機(窓口端末)を設置 ・令和7年2月初旬～2月下旬にかけて、鉄道線各駅にICOCA改札機を設置 【目標】 ICOCAシステム：令和7年2月28日導入完了 Web定期券サービス：令和7年2月28日導入完了 ※お客様向けサービス開始日は、令和7年3月18日
④今後の改善点	
(目標値の達成状況等を踏まえ今後の改善点や、取組内容等を記載)	
システム導入後の状況を踏まえて改善点を洗い出していく予定。 また、Web定期券サービスについて、ホームページなどで広報し、お客様の利用促進を図る。	

※事業実施の適切性における評価の凡例

A：事業が計画に位置づけられたとおり、概ね適切に実施された

B：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった点もあったが、それに対する課題の整理が図られた。

C：事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

※目標・効果達成状況における評価の凡例

A：事業が計画に位置付けられた目標を概ね達成した(する見込み)

B：事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった(一部達成できない見込み)

C：事業が計画に位置付けられた目標を達成できなかった(達成できない見込み)